

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

研修参加者

所属:農学部 生物環境学専攻

氏名:勝目 一成

授業科目名	食料環境システム学特論Ⅱ
研修先(国・地域) 滞在地	タイ・バンコク、コラート
研修期間	H28、8、16～H28、8、23
<p>〔研修を通じて得た成果〕</p> <p>今回の研修は講義やセミナー講演、食品管理技術研究会のサークル活動で得た HACCP の知識の再確認を主な目的としました。また、個人的にタイの HACCP と HACCP 認証を得ている企業の工場に興味がありました。タイ研修の前半では魚醤工場とシャーロンポックハンド食品(CP)の工場見学を行いました。魚醤工場では、私が見る限り製品の殺菌工程がなく、コンタミネーションの起こりそうな工場だったため、日本よりも認証基準が低いのではないかという印象を受けました。CP では鶏肉のカットと加工の工程を見学しました。CP はタイの大企業ということもあり、汚染区、準清潔作業区、清潔作業区がしっかりしていて、作業員の作業服も徹底していました。企業紹介スライドでも衛生管理に力を入れているのが確認できました。</p> <p>タイ研修後半はタイで HACCP の内部監査を行っている方の講習を受けました。この講習は英語によって行われ日本の学生もタイの学生も母国語でない講習に戸惑いながらも、自分の持っている知識と照らし合わせながら、HACCP の基本的な内容を再確認できました。また、タイでの実際の内部監査やコンサルタントの状況も現役の方の話が聞けて大変勉強になりました。</p> <p>今回の研修で当初の目的は達成でき、また日本以外の工場見学といった貴重な体験ができました。タイの学生との交流についても、ウェルカムパーティーでもてなしてくれたり、夜市を案内してくれたりと本当に良くして頂き、短い間でしたが充実した国際交流ができました。</p> <p>〔研修後の抱負〕</p> <p>私は研修前までタイで HACCP 認証が盛んであると知りませんでした。今回の研修を通じて HACCP はやはり国内だけでなく、輸出入といった国際的な流通に必要であると認識しました。日本では 4 年後の東京オリンピックに向けて HACCP 認証の義務化の動きもあると聞いています。これからは日本での内部監査員の資格所得も視野に入れてより一層勉学に励みたいと思います。</p>	

(記入にあたっての注意) この報告書は今後の奨学金支給にあたっての参考となるものですので、詳細(複数頁可)に記載をお願いします。冊子として後に残るものなので記述の仕方にも注意して下さい。また、パソコンでの作成を原則とします。

学 生 海 外 研 修 報 告 書

鹿児島大学長 殿

研修参加者

所属: 農学研究科・修士1年

氏 名: 馬見塚 裕介

授業科目名	食料環境システム学特論Ⅱまたは 食料環境システム学Ⅲ
研修先(国・地域) 滞在地	タイ・バンコク、コラート
研修期間	H28、8、16～H28、8、23
〔研修を通じて得た成果〕 私がタイの研修で得た成果として最も大きいことは、食の安全性の重要性を実際に体感できたことです。日本で食の安心・安全のための規格である HACCP や FSMA を勉強しても、あまりその重要性は感じることはできませんでした。なぜなら日本は先述した規格の導入があまり進んでいないにも関わらず、食に関して消費者からある程度の安心を得られており、食中毒事故の発生件数が他国に比べ少ないからです。一方、タイの食は我々にとって完璧に安心できるものではありませんでした。タイの食事は日本でいう屋台のような場所から提供される場所が多く、提供される食材は海鮮物もありました。その海鮮物は本来ならば温度管理をしっかりと行い、冷蔵庫保管をしなければなりません。しかし、実際は常温のトレーの上に野ざらしで、温度管理などまるでされていない状況でした。そういった状況では消費者は食べると食中毒事故になるのではないかという不安を拭えず、食に対して安心を得ることができません。このようなタイの食の状況を実際に体感し、私は日本ではあまり感じられなかった HACCP や FSMA の重要性を知ることができました。そしてナンプラーやチキン工場の視察や HACCP のセミナーの受講により、さらなる知識の増加にもつながりました。今回、私はタイにおいて日本で今後生きていても絶対に体感できなかったであろうことを知ることができました。非常に有意義な研修を受講できたことに感謝しています。また次の機会があれば参加したいと思います。	
〔研修後の抱負〕 私は今回学んだ HACCP に関する知識をさらに補充し、HACCP 監査員の資格を取りたいと考えております。またタイで受講したセミナーは英語で受講したため、分からなかった部分もありました。そのためセミナーの内容を復習する必要があり、さらに自分の英語力も発展させていきたいと考えています。	

(記入にあたっての注意) この報告書は今後の奨学金支給にあたっての参考となるものですので、詳細(複数頁可)に記載をお願いします。冊子として後に残るものなので記述の仕方にも注意して下さい。また、パソコンでの作成を原則とします。